



社会医療法人近森会

発行

2014年2月25日

びろっば 3

Vol. 332

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目 1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

近森会グループ統括看護部長就任にあたって 楽しく働ける職場づくりを

近森会グループ
統括看護部長 岡本 充子



長年、近森会の看護部を牽引してこられた梶原和歌統括看護部長からバトンを渡され、統括看護部長として看護部をまとめていくことになりました。

自分にいったいなにができるのか、まだまだ模索段階です。しかし、これからは各院の看護部長をはじめ多くの方々の力をお借りしながら、近森会で働く看護師一人ひとりが、看護という仕事にやりがいを感じ、楽しく働ける職場にするにはどうしたらいいのかを考えていかなければと思っています。同時に質の高い看護を提供するためにどうすればいいか絶えず模索していかなければと思っています。

これからも老人看護専門看護師としての経験を活かしつつ、自分らしさを忘れず、統括看護部長として、みんな

と一緒に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
おかもと じゅんこ

近森病院に在職させていただいた33年10カ月は変化に富むアツという間の看護人生でした。

看護師688名、介護福祉士、歯科衛生士、ポーター、看護補助者を含む看護部874名の方には昼も夜も365日、患者さんのお世話や、医師、そして他職種の方と協力して「近森チーム医療」に貢献して下さり、ありがとうございます。喜びや悲しみ、感激や悔しさなど共有して下さった患者さん、理事長、管理部長そして多くの職員のみなさま、ご指導をありがとうございました。

後輩にバトンを委ね

近森会グループ看護担当理事
前統括看護部長 梶原 和歌



これからの医療は、「重症度、医療・看護必要度」などで病院機能の絞り込みが一段と加速しそうですが、理事長の英断で「患者さんのための医療」「やりがいと誇りをもてる職場づくり」の舞台・準備が整いつつあります。患者さんや保険者、職員から選ばれる病院として燦然と輝きつづけるように願いつつ、眩しい後輩にバトンを委ねます。好きな言葉を贈ります。

The more noble the more human
(実るほど頭を垂れる稲穂かな)
かじはら わか

その時
歴史が
動いた

その2. 付き添い看護から基準看護へ

いまから三十年以上前の近森病院は看護婦さんはほとんどが准看さんで、付き添い看護の時代であった。病棟は付き添いさんの吸うタバコのヤニで、真っ黄々！サンマを焼く煙で非常ベルが鳴るような病院だった。リハビリ機能をもたない救急病院は寝たきり製造病院で、寝たきり患者さんが増えては増床を繰り返していた。

昭和61(1986)年4月に虎ノ門病院分院から石川誠先生、中村婦長以下4名の看護婦さんが赴任し、半年後には駅前の分院(現管理棟第二別館)で理想的なリハビリ病院建設のための、基準看護によるリハビリテーション看護を試験的に始めてくれた。

これまでベッドの上で鬱々としていた若い脊損の患者さんが、看護婦さん



近森 正幸

とともに「笑顔で車いすに乗っている姿を見たとき」、看護のすばらしさを感じて近森病院でも基準看護をとることになった。

翌62年5月には本院基準看護準備委員会を発足させ、第二分院の婦長を

していた梶原和歌さんを本院の総婦長代理として迎え、基準看護に取り組むことになった。わずか一年余りで特I類の実績開始となったが、それまでの看護レベルの低さを思えば容易なことではなかった。梶原さんのおかげで基準看護のスタートを切ることができたといえる。

まず婦長さんの養成と外部からの招聘、戦力の核であった准看さんを正看さんの学校に行かせるなど、看護の質の飛躍的な向上を図った。梶原さんにはその後四半世紀に亘って近森会の統括看護部長として、現在の近森の看護をつくり上げていただいた。

救急で医療が良くなり、基準看護で看護の質が上がる。あたかも車の両輪のように、病院はやっという方向に動き始めた。

理事長・ちかもり まさゆき

「はじめの一步」 を大切に

近森病院臨床栄養部
科長 佐藤 亮介



本邦における、臨床での管理栄養士業務の歴史はまだ浅く、終日臨床業務に従事している例は、未だ少ないのが現状です。

他の施設の管理栄養士の方からは、「病棟に行くのが怖くて……」「臨床の知識がないので、他の職種の方達と話が出来なくて……」などのお話を良く聞きます。

そんな方たちに私は、「まず、勇気

を出して、病棟への一步を踏み出しましょう！『何者』って思われたら、占めたものです！」と伝えるようにしています。

かくいう、我々も、10年程前は、病棟の片隅で、人知れず細々と、業務を開始した次第でした。

当時、私が病棟に行くと、循環器内科の要科長と良く間違われて（当時、私は痩せており、制服も似ていた……）それがきっかけで、病棟スタッフに仲良くしてもらい、さまざまな仕

事をいただけるようにもなりました。

現在、病棟に行くと、藤色のスクラブを着た管理栄養士が居る風景が当たり前になりました。それでも、大切にしていきたいものです、「はじめの一步」を……。

さとう りょうすけ

3月の歳時記

たんぽぽ

高知市
障害者相談支援センターちかもり
ソーシャルワーカー 島崎 友映



どこにでも咲くたんぽぽの花は、誰にとっても親しみ深い花ではないでしょうか。たんぽぽの黄色は、青い空にも緑の野にもよく映え、気持ち

が明るくなります。小さい頃は、たくさん黄色が広がればいいなあと、綿毛になったたんぽぽを吹いて歩いたことでした。春の訪れと共にあちこちに顔をのぞかせてくれるたんぽぽ。あたたかい陽ざしが待ち遠しいです。

しまさき ともえ



絵・総務課
広報担当
公文幸子

そんなわけで(気儘エッセー9参照)私は、自分や家族が医療で救われた経験を契機に医師になったのではなく、また感情をすり減らしながら患者さんに尽す気高い看護師さんのような決意を持たずに医療に入ったので、患者さんの死亡はこたえました。私が医師になった頃はまだ循環器疾患死亡が多かったためか高齢の癌患者さんは少なく、若い癌患者さんの死亡は特にこたえました。高知に帰り大学病院に勤め、大学内の事情で途中から私の担当が消化器癌から乳癌に変わり、死亡に至る担当患者さんの数は減りました。

癌は手術単独では再発がかなりあり、しかし手術以外の「補助療法」の科学研究は未発達でした。私が医師になった頃やっと抗癌剤を使用するようになり、その後、広範囲切除手術が流行し(逸見政孝アナの手術の頃です)これら大手術の成績から、後遺症を覚悟して広範囲切除をしても結果が良くならない癌が多いと判り、抗癌剤等の補助治療が発展し現在に至りました。そんな過渡期に大学病

院にいたため、治療選択肢を説明し患者さんに選んでもらうことが私の習性になりました。

治癒が望めないか、治癒可能かどうか判らない悪性疾患などの場合、治療に関する希望は患者さん毎に違いますし、治療の正解がないこともあります。詳細な説明を望み可能な限り自分で決めたい患者さんがいる一方、全てを自分が気に入った医師

気儘エッセー 10

私の医療に対する考え



近森病院外科部長
たなか ようすけ
田中 洋輔

に丸投げしたい患者さんや、病状説明を聞くのも嫌という方さえいます。良性疾患と違い、癌は患者さんご自身に全てを説明するのが酷な場合もあるし、治療してみないと成否が判らない部分もあります。私の医療に対する信条は、可能なら患者さんに選択してもらいたいが、結局、患者さんごとが変わるということです。(医師の平均的な態度ではないかと思えます。)しかし稀に、極限までの癌治療を望む患者さんがいて、これ以上の治療はつらいだけだろうと思うこともあります。蛇足ですが、病気の性格が違えば診療科により医師の信条は少しずつ違うのかもしれない。

● 医療今昔物語 ●

「テレフォンカード」 にみる近森の歴史

近森病院脳神経外科

部長 高橋 潔



先日外来診療中にふと机の上を見るとデスクマットの間にテレフォンカード

が挟んであった。よく見ると「近森病院新館落成記念 1992.7.27」と印字してある。22年前の現在のB・C棟の完成時のものである。

そういえば当時は職員全員に配布されたような記憶がある。あちこちで何かの記念にといって、テレフォンカードが作られていた。現在は携帯電話からスマートフォンになってしまったが、当時はまだポケットベルの時代であった。宅直医を呼び出すときにはこれを鳴らして呼び出すのである。呼ば

れた医師は病院に連絡をするシステムである。

何かをしているときに呼ばれると、すべて片づけて公衆電話までいかどうか迷ったものである。公衆電話が今より多くあり、このテレフォンカードがプリペイドカードとして使われていた。机の中を探してみると未だに多くのテレフォンカードが眠っていた。「在宅総合ケアセンター近森 1998年5月1日」、「医療法人近森会創立50周年記念」などと5～6枚のカードがある。いずれも全く使用されないままである。

これはNTTが随分儲かったと思っただが、当時はテレフォンカードはスキミングや犯罪に利用され新聞を賑わせていた。儲かったのは犯罪者のみかもしれない。なかなか捨てられずに机の片隅で眠っている私のテレフォンカードはプレミアムがつくのを待っているのかもしれない。

たかはし きよし

私の趣味

我が子の勇姿を見守って

近森リハビリテーション病院

作業療法科科长

中島 美和



作業療法は「作業」に焦点をあて、心身機能や日常生活や社会生活の向上にむけたりハビリテーションの一つです。中でも個人の生活歴や興味の要素が大きい「趣味活動」を治療に用いる場合もありますので、回復期の作業療法では患者さんに「趣味はありますか？」と尋ねる事があります。趣味をすぐに答えられる方は意外と少なく、「趣味ゆうても」と困る患者さんも多くいます。

私自身、趣味といった趣味がないのですが、今は小学生の長男と次男が週4回通う「剣道の練習」を見学するのが唯一の楽しみになっています。剣道には全く興味のなかった私ですが、練習や試合での我が子の勇姿を見て、ストレス発散になるとともに「私も頑張ろう！」といった気持ちになるのです。でも、剣道を見て楽しむ期間も限られていますので、老後を考えて新しい趣味を開拓せねば……と思いつつ、仕事と家事に追われる毎日です。

なかじま みわ

近森病院 mini 公開県民講座が3月23日に開催されます。

大好きって相手の幸せを考えること — 10代から知っておく性、 デートDV、LINEについて—

講師：ウィメンズクリニック・かみむら院長 上村 茂仁

大好きって相手の幸せを考えること
—10代から知っておく性、
デートDV、LINE…について—

参加無料

申込不要

近森病院 mini 公開県民講座

◎開催日 平成26年3月23日(日)

◎時間 14:00～15:30 (開場13:30)

◎会場 近森病院 管理棟3F

◎講師

ウィメンズクリニック・
かみむら 院長かみむら しげひと
上村 茂仁 先生【プロフィール】
昭和34年3月15日生まれ
土佐高校出身
川崎医科大学卒業
医学博士

◎お問い合わせ先 社会医療法人近森会 近森病院 看護部 ☎088-822-5231 (代)

後援：高知県教育委員会 高知市教育委員会

年間90校、全国の学校(小学校から大学まですべての学校)へ講演に行っています。講演の中で私の連絡アドレスを教えるので毎日たくさんのメールを10代の子供達からもらいます。恋の話、進路の悩み、親と友人との関係、交際について、勿論性的問題もたくさん相談してきます。そんな10代の皆さんが今本当に知りたい事、悩んでいる事を楽しく、丁寧にお答え出来たらと思います。

この時間はお話の時間です。堅苦しい話や難しい理論は語りません。ゆっくり座って気楽に話を聞いていただければそれで構いません。大人は子供たちの幸せのために、10代のみんなは自分と仲間や恋人の為にゆつたりと考える時間を持たたいと思います。

第124回地域医療講演会報告



リーダーシップと コミュニケーション

近森病院外科部長 八木 健

この度、近畿大学医学部内視鏡外科部門教授の今本治彦先生をお迎えして、「より安全で質の高い内視鏡外科手術を行うために」のタイトルでご講演いただき、高知大学の小林道也教授をはじめ、多くの方にご参加いただきました。

今本先生は近畿大学病院手術室における内視鏡手術の中心的な存在とし

て、手術室環境整備やチーム医療・教育に熱心に取り組まれております。「安全で質の高い手術を行うために」は医師だけではなく、直接介助・間接介助の看護師、臨床工学技士の協力が必要不可欠であり、皆のやる気を引き出すリーダーシップときめ細やかなコミュニケーションが大切であるということ、先生のご経験をもとに丁寧にお話していただきました。

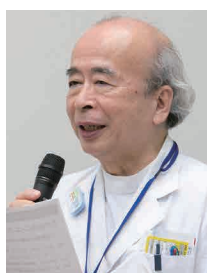
▼近畿大学医学部外科学
内視鏡外科部門教授 今本治彦先生



「攻めの直介・外回り」という言葉が非常に印象的でした。

やぎ けん

第125回地域医療講演会報告



プルキンエ不整脈： 心室期外収縮から 心室頻拍・心室細動まで

近森病院循環器内科部長 深谷 眞彦

心臓の電気的な興奮伝導を司る刺激伝導系は日本人の田原淳によって発見されました。房室結節からプルキンエ線維に至る刺激伝導系の末梢の組織であるプルキンエ網は心室内に広く分布していますが、近年、特発性のみならず虚血性など種々の心室性不整脈に関わっていることが明らかになってきました。

急性心筋梗塞後の薬物治療抵抗性の「心室頻拍・細動の嵐」にもプルキン

エ線維が関わる場合があります。野上先生は不整脈の診断・治療の中でも特に心室性不整脈の領域、なかでもプルキンエ不整脈では第一人者です。

実は本講演の前に患者さんのカテーテルアブレーション治療を、先生のご指導のもとに成功させた足で講演会場に直行してきました。

一息入れる間もなく始まったご講演でしたが、致命的になり得る臨床的に重要なこの不整脈の診断から非薬物治

▼筑波大学医学医療系循環器
不整脈学講座教授 野上昭彦先生



療（カテーテルアブレーション）にいたる内容を、たいへん面白く精力的にお話していただきました。不整脈治療の最前線を垣間見ていただけたことと思います。

ふかたに まさひこ

第126回地域医療講演会報告

がん治療における 再建外科の役割

近森病院形成外科
部長 赤松 順



1月31日(金)「がん治療における再建外科の役割」と題して、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・木股敬裕教授にご講演いただきました。

形成外科の基本手技から最先端の手術、緩和治療を考慮した形成外科手術の概念や新しい形成外科手技の応用で期待される成果や今後の展望、そして

多職種連携の重要性を含めて、専門医師不足のチャームで、日本では標準的な形成外科手術の恩恵を受けることが出来ない実態を処々に取り混ぜて分かりやすく、興味深くお話いただきました。1時間15分を超える講演時間が、驚きとともに、あっという間に終わりました。

当日は院内外より60名を超える多

▼座長の大阪医科大学
形成外科学教授 上田晃一先生



▼岡山大学大学院医歯薬学
総合研究科形成再建外科学
教授 木股敬裕先生



職種の方々にご聴講いただき有意義な講演会になりました。木股教授、座長の大阪医科大学・上田晃一教授ありがとうございました。

あかまつ じゅん

患者とともに生きる医療



近森病院心臓血管外科
部長 入江 博之

高本先生は、患者に助けられた経験より、医師は患者を救うのと同様に、患者に救われているのだと気づき、それからずっと医療の原点を「患者さんとともに生きる」とし、活動されています。

「患者とともに生きる」とはどのようなことなのでしょう。

まず医療とは、患者の命の力が治療の原動力であり、患者はチーム医療の主演で中心です。医師は患者の側にいるガイドでしかありませんが、その学問、勉強をもとにした認識を患者とともに共有できれば双方にとって大いに癒しになります。このような双方の意

バレンタイン献血

献血ありがとうございました!

2月17日(月)に少し遅めのバレンタイン献血を開催しました。忙しい業務の合間をぬって、53名の方にご協力いただきました。心よりお礼申し上げます。

次回献血は6月に開催予定です。

お知らせ 医療従事者対象

●第131回地域医療講演会
「心臓血管外科の最新治療と今後」
日時：3月7日(金) 18:00～19:00
会場：管理棟3階会議室
講師：高知大学医学部外科学(外科二) 講座 教授 渡橋和政先生

●第132回地域医療講演会
「患者安全能力を高めるシミュレーショントレーニングのデザイン～院内救急対応システムRRS(Rapid Response System)の導入に向けて～」
日時：4月18日(金) 18:00～19:00
会場：管理棟3階会議室
講師：獨協大学越谷病院 救命救急センター長 救急医療科教授 池上敬一先生

●第133回地域医療講演会
「緊急度判定支援システムJTASと院内トリアージ：最新動向」
日時：6月6日(金) 18:00～19:00
会場：管理棟3階会議室
講師：富山大学附属病院副院長 災害・救命センター長 奥寺敬先生

識改革が必要であり、時にぶつかり、決して甘くはない現実に対してともに乗り越える情熱を持ち、我慢し、一生懸命生きることこそ、「患者とともに生きる」ことだと話されました。

医療職として、とても大切な根幹の



お話であり、参加者の心に感動を残した講演会でした。

いりえ ひろゆき

ワッペン、バッジ、広報誌あれこれ 1

社会福祉法人ファミーユ高知広報誌
「ふくらむ」

高知ハビリテーリングセンター
センター長 上田 真弓



近森会グループに仲間入りした社会福祉法人ファミーユ高知が、どんどん「ふくらむ」事業所でありましょう、との想いから命名されました。ファミーユ編集委員が軸となり内容を吟味し、高知ハビリテーリングセンターB型の印刷機で利用者が、生産活動として入力やデザインを行い、季刊誌として発行しています。

公益法人である社会福祉事業の活動が見えることはもちろんのこと、次号を楽しみにしていただけるようなものを発行していきたいと思っています。「社会福祉」とつけば、なんとなく暗いイメージを描かれますが、ご利用者が元気に！ 懸命に！ 社会復帰訓練や就労トレーニング、生産活動に臨んでいるようすを見て、知っていただければ、ファミーユは大きく大きくふくらむのです。親である「ひろっば」に続いて皆さんにご愛読いただきますよう、益々想いを込めて発行していきますので、よろしくお祈りします。

ワイン講座 ● 20

ぶどう品種を知り、個性を探る

シャトーヌフ・デュ・パブルージュ/ペゴール/フランスローヌ地方 ●コメント：ワイン名は法王の新しい城という意味。1種で造られるワインもあれば、この赤ワインのように、最高13種のぶどうを使用して造ることが認められています。

皮や種の比率が高いのですが、香味の成分は、この部分に多いため、香り高いワインに仕上がります。

ちなみに、日本で生産されているぶどうは、その8割が生食用。しかし世界中で収穫されるぶどうは、約8割がワイン用です。つまりは世界で栽培されるぶどうの8割がヨーロッパ系ということになります。今後、白ぶどうと、黒ぶどうの代表品種を何回かに分けてご紹介させていただきます。

鬼田知明 (有限会社鬼田酒店代表)



卒後臨床研修評価機構による評価を受審

「卒後臨床研修評価機構」の認定(4年)を受けました



研修管理委員会委員長
近森病院循環器内科主任部長 川井 和哉



近森病院は基幹型臨床研修病院として2005年から初期臨床研修医を受け入れてきました。

急性期病院で症例数も多い当院では、2年間で圧倒的な経験数を積むことができます。救命救急センターもあり、プライマリーケアから3次救急まで幅広い経験もできます。教育熱心な指導医も多く、研修病院としての実績を積み上げるにつれ、認知度も上がり、最近では毎年10名の定員がいっぱいで、嬉しい悲鳴をあげています。

自己満足せず、更なるレベルアップのためには、第三者による評価が必要と考え、昨年11月に卒後臨床研修評価機構による評価を受審しました。

外来から入院までの診療体制、病棟業務、実際の研修内容や評価法、設備の充実度など、各職種との現場でのやり取りや、研修医との個別インタビューなどを通し審査されました。

昨年12月30日、高知県では初めてとなる認定(4年)の知らせが入りました。

講評として、プライマリーケアを提供できる医師を病院全体で育てようとしていること、チーム医療の充実、そ

して研修医が生き生きと働いていることなどが高く評価されました。

いくつかの改善点の指摘もありましたが、すでに対応を済ませました。全国的にも質の高い臨床研修病院であることが認定され、当院の研修に自信を持つことができました。これからも病院をあげて、素晴らしい医師を育てていこうと思っています。

かわい かずや

PS サポーター

よろず出張、随時受付中!!



近森病院総合心療センター
デイケアパティオ 作業療法士
大熊 将平

「働きやすい職場づくりには、なにを、どうしたらいいだろう?」と悩んでいる部署の方がおられるのではないのでしょうか。「スタッフの対応を良くしていきたいけどなあ…」と、気になっている部署の方!名札に青い「PS」とシールを貼っているスタッフへお声をかけください。よろず出張相談、随時承ります!! と、急なコマースラルで申し訳ございません。

ここ数カ月連続で「ひろっば」に登場してきた「PSサポーター」が、職場づくりや対応で悩まれている皆さんのもとへ出張いたします。ぜひぜひ、お気軽に声をおかけください。

おおぐま しょうへい

近森会 保育室 そると

2月3日、「そると」に鬼がやって来て、節分の豆まきをしました。



お弁当拝見 23 ローカロリー、ロー女子力弁当



地域生活支援センターこうち
ソーシャルワーカー 山本 真里



お弁当を作るのが時々面倒に思うこともあります。職場の皆が、「毎日お弁当作って偉いね」と誉めてくれるので、また気を良くして作っています。私が作るお弁当は、夫と私の二人分。結婚して7年、出会って13年が経ちました。夫のことが大好きな私。今は子育てと仕事で二人ともゆっくりとした時間を過ごすこと

はできませんが、もっと歳を重ね子供たちが巣立った時、二人で色々なことに挑戦したいねと話しています。そのためにも、体のことを考え、薄味、野菜多め、色々な食材を使うように気をつけています。夫は余り調理をしません。

でも、ある日何故か『キャラクター弁当』の本を購入し、リサ&ガスパー

ルの弁当を作ってくれたことがあります。そんな乙メンな夫には申し訳ない限りですが、私の作る弁当は見ての通りちっとも可愛らしくないです。今後は技術を磨き、幼稚園に通い出した娘のためにも、健康且つキュートなお弁当作りに取り組みたいです。 やまもと まり

集中ケア認定看護師 教育課程研修報告

近森病院 ICU 看護師 谷脇 和歌子



向かって左から3人目が筆者

昨年5月1日から12月20日までの約7カ月間、神奈川県立保健福祉大学実践教育センター急性期重症者支援

ハッスル研修医

あっという間の1年



初期研修医 松田 英之

近森病院で研修して早や1年経ちました。相変わらずあたふたしていますが、日々諸先生方やコ・メディカルの方々のご指導により、ここまで過ごすことができました。ほんとうにありがとうございます。

時々、病棟や外来にて、以前担当していた患者さんやそのご家族に会ったりすると「久しぶりだね」と、声をかけてくださることがあります。こんな私でも覚えてくださっているということを知り、とても嬉しく、またもっと頑張ろうと思います。いろんな方々と話をしていくうちに、徐々にですが自分のなりたい医師像が見えてきた気がします。

とはいえ、明確な理想の医師像はありませんが、まずはもっとみなさんに覚えてもらい、そして気兼ねなく話をさせていただけるように、頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしく願います。そして、もしよろしければ、見かけたら何でもいいので声をかけてください。背格好が似ている同期がいますが、間違えられても声をかけていただけるだけで嬉しいのです。

まつだ ひでゆき

課程（集中ケア認定看護師課程）で研修を受けてきました。中四国からは私一人でしたが、旭川から長崎まで全国から集まった仲間と共に学びました。

教育課程の内容としては、集中領域における専門知識と技術の習得のみならず、集中ケア認定看護師として組織にいかに関与するか。組織における集中ケアの質をあげるために、どのような関わりをもつのかと問われ続け認定看護師としての資質を教育するといった内容でした。加重課題や科目試験、対人関係の演習において、出来ない自分に向き合うことは辛かったです。対人専門職として自分の行いを立ち返り、内省続きの7か月間でした。

臨地実習では都内の三次救急指定で

ある約1000床の大学病院で研修しました。大学病院ならではの特性もありましたが、急性期病院としての機能は近森病院と類似している部分があり、実践的に臨床に活かせる学びが経験できました。また教育課程では専門科目のほかに看護管理や情報管理などを学び、全国的に近森病院が優れている部分を再認識し、また集中ケア領域としての課題を見出すことができましたように思います。

5月の認定審査をクリアしなければ認定看護師ではありませんが、業務と両立させることも自己課題のひとつだと思っています。このような貴重な学びの場を与えていただいたことに大変感謝しています。今後は、組織のリソースとして、研鑽し貢献したいと思っています。まだまだ未熟ですので、臨床の場面ではご指導よろしく願います。

たにわき わかこ

リレーエッセイ

趣味をもつことで 得たもの

近森リハビリテーション病院

理学療法士 中田 祐貴



今日は自分の趣味についての紹介をさせていただきたいと思います。私は車が大好きで、趣味は車をいじることやドライブをすることです。車を改造することについて、いいイメージを持っていない人も少なくないと思います。実際、生きていく上では必要はありませんし、壊れやすくなり車検も通りにくくなります。どこを走っていてもすぐわかるので悪いことはできません(笑)。それでも車をいじること、人と違う「自分だけの車」に乗ることができる楽しみがあります。

この趣味のおかげで交友の幅も広がり、一生付き合っていきたいと思えるような、多くの大切な人と知り合うことができました。私事ですが最近結婚することになり、相手の方との出会いもこの趣味があったから



です。趣味を持つことは、お金がかかります。それでも、お金では買えないような様々な出会いがあったり、いいこともたくさんあると思います。結果的にプライスレスです。だから、皆さんも自分の持っている趣味を大切にさせていただきたいと思います。

なかた ゆうき

「そと」で BLS+AED 小児コース シミュレーション研修 を開催

近森病院の託児所「そと」は、0 歳児から 3 歳児までの大切な命をあず



かっている職場です。今回総勢 20 名の保育士さんたちを対象に、一次救命処置（以下 BLS）講習会を 2 回に分けて開催しました。成人の BLS をベースに小児・乳児の BLS と窒息時の対応を、成人と子供の違いを学びながらシミュレーション研修を行いました。指導は循環器部長の窪川医師をリーダーに AHA の認定インストラクターが担当しました。参加者全員とて

心肺蘇生委員会
救急看護認定看護師
救命救急センターシニア看護師長 和田 道子



も熱心で、納得のいくまで質問も飛び交い、2 時間半の研修はあっという間に終わりました。

現在「そと」にも AED が設置されており、それに加え、換気用のマスク（小児用）も設置しました。また、管理棟 3F に設置している AED も成人・小児共に対応できるようになりました。BLS 研修は受けて終わりではなく、維持していくこと、いざというとき使えることが大事です。今後も定期的な受講、スキル維持のお手伝いをしたいと考えています。

わた みちこ

病態栄養学会 ● 会長賞受賞報告

近森病院から発信する 「オルソニュートリション」



近森病院臨床栄養部
管理栄養士 友原 妃東美

第 17 回日本病態栄養学会年次学術集会にて演題「大腿骨近位部骨折患者における周術期栄養状態の推移に関連する要因の検討」を発表し、会長賞を受賞することができました。

栄養学の教育に整形外科という領域

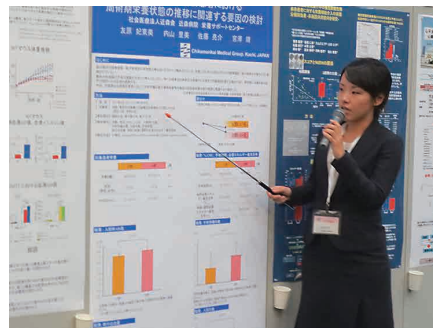
はなく、前職で耳にした「整形に栄養士はいらない」という言葉が胸にひっかかり、整形外科病棟の担当になった 1 年半前には戸惑うばかりの日々でした。

しかし、栄養学的に考えると、「大黒柱が折れるような」骨折の背景には、他の疾患や生活背景など、さまざまなエピソードが潜んでおり、栄養サポー

トは必須だと感じています。

今後も、患者さんにとって最適な栄養サポートを実践し、「オルソニュートリション」の必要性について発信していきたいと思っています。ご指導いただきました上田部長をはじめ、整形外科の先生方や栄養部の皆さん、ほんとうにありがとうございました。

ともはら ひとみ



図書室便り (2013 年 1 月受入分)

- 乳がん術後一期的乳房再建術：乳がん術式に応じた乳房再建のテクニック／矢野健二
- OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準 28 骨折に対する修復術・内固定術・安全・確実なテクニック／安田和則（担当編）
- ミラー麻酔科学／Ronald D. Miller（編）、武田純三（監）
- 麻酔科学スタンダード I 臨床総論、II 臨床各論、III 基礎・IV 関連領域／小川節郎（他編）
- 治療薬マニュアル 2014 / 北原光夫（他編）
- 今日の治療指針：私はこう治療している 2014 Volume 56 / 福井次矢（他総編）
- 標準微生物学第 11 版 / 中込治（他編）
- 標準感染症学第 2 版 / 齋藤厚（他編）
- プレゼンテーション Zen：デザイン：あなたのプレゼンを強化するデザインの原則とテクニック / ガー・レイノルズ

- （著）、熊谷小百合（訳）
- 看護白書平成 25 年版：進めよう！健康で安全に働き続けられる職場づくり / 日本看護協会（編）
- 社会保障の手引：施策の概要と基礎資料平成 25 年版 / 中央法規出版（編）
- 成年後見実務マニュアル：基礎からわかる Q&A 改訂 / 日本社会福祉士会（編）
- 社会保障入門 2013 / 社会保障入門編集委員会（編）
- 社会福祉の動向 2013 / 社会福祉の動向編集委員会（編）
- 地域病院ポートフォリオ：厚生労働省平成 23 年度 DPC 調査データに基づく / 石川ベンジャミン光一（他編）
- 《別冊・増刊号》
- 別冊医学のあゆみ がんの免疫制御：研究と臨床の最前線 / 河上裕（編）
- 別冊医学のあゆみ BMI (Brain-Machine

- Interface) の現状と展望 / 吉峰俊樹、川人光男（編）
- 臨床精神医学 2013 年第 42 巻増刊号精神科診療に必要な書式マニュアル [第三版] / 「臨床精神医学」編集委員会（編）
- Emergency Care 2014 年新春増刊看護師・研修医必携救急・ICU ですぐに役立つガイドラインこれだけ BOOK / 吉永和正（編）
- BRAIN NURSING 2014 年春季増刊もう迷わない！すべきこと & してはいけないことが一目瞭然！脳神経疾患看護の Do & Do Not / 井上亨（監）
- NHK きょうの健康 生活実用シリーズ「がん」にならないための五つの習慣 / 津金昌一郎（監）
- 《視聴覚資料》
- Audio-Visual Journal of JUA Vol.20 No.1 / 日本泌尿器科学会（企画・監）

山崎さんお手製のケーキ▶

潜在ニーズに気づく仕事師に



生きやすさの要因

毎朝 4 時半に起きて朝食と、併せて娘のお弁当まで作り、早朝の通勤列車に間に合うように機嫌良く送り出してくれる母親。彼女は結婚以来ずっと同居の舅姑ともむろん仲良く暮らしている。そんなガンバリ屋の母親を持つ淑子さんが、大好きな母親から受ける影響はかなり大きいようだ。

県外の大学に行けるのも、中学高校時代、汽車に乗ってまで高知市内の学校に通えるのも、「全て、お父さんが家族のために働いてくれるおかげ」だと母親から聞かされて育ったためか、親にはむろん、周りの年長者にも自然と尊敬の念を覚える娘に成長した。いま、何ごとにつけ、周りに感謝の気持ちが湧くのが、もしかしたら淑子さんをいちばん生きやすくしている要因かも知れない。

仕事の現場でも趣味に関しても、肩に力を入れない自然体で、できることを無理なく続けている印象がある。

潜在ニーズを引き出し次へ繋げる仕事

大学を卒業したとき目指したのは、小さい頃から好きだった、折り込みチラシの間取りを見て部屋をあこれ想像する仕事に就くことだった。日本でも有数の不動産販売の会社を受験したのは、待遇の良さや安定感に惹かれたからだったが、重役面接では筆記も頑張れ！と励まされ、伸び伸び試験に向かえたラッキーガールだった。そこはかたなく漂う自然体ポーズが、周りを居心地よくさせるように見える。

一生にいちどの大きな買い物にくるお客さんの、お客さん自身さえ気づいていないような潜在ニーズを引き出し、それを実際の購買行動に繋げるという仕事。これには、自分でもワクワクするような適度な緊張感があり、しかも達成感が大きく、気力体力に自信が持てる時期には理想的な仕事だった。

しかしながら、早朝から深夜まで、まさに企業戦士のようなハード日程が続くと、長く続けられる一生涯の仕事とはどこかで思えなかったのだろう。

高松に 2 年、岡山大で 2 年勤めたあと、「企業戦士のような働きぶりにはならない、長く続けられる仕事を見つけたい、今度は地元で」と、親元に帰る決心をした。

形成外科の秘書に応募したのは、そんな理由からだった。平成 23 年 8 月のことである。

部長の動きやすい道筋を考える

外科の先輩秘書さんから教えてもらう仕事に加えて、初代として自分で拓いていく業務もあり、不動産提案の仕事とはひと味違った工夫や緊張感が求められ、それがまたいまの仕事の面白さに繋がっているのだという。

赤松部長には「やまよちゃん」と呼ばれて頼りにされる。彼女の押し付けがましさを先読みの細やかさが部長には何よりの大きな味方になっているようだが、やまよちゃんも慣れてきて、どのようにすれば部長がいちばん動きやすいのか、その道筋が見えてきているようでもある。

42.195 キロ完走、

その底知れないパワーの源は……

淑子のヨシは淑女の淑、「いまの時代にはちょっと古くさそうな響き」だというが、この名前に似合った落ち着きを醸し出しているのも、いまの生活が



▲雲井 Dr と四万十川水泳マラソンを昨夏

気に入っているゆえの余裕なのかも知れない。

趣味は夏には水泳、冬にはマラソン、料理も大好きでケーキが得意。この 2 月に行われた龍馬マラソンでは、去年も今年も 42.195 キロを見事に「完走！」した。そういう底知れないパワーは、毎朝 4 時半起きの母親の頑張る背中にエネルギーを与えられているからかも知れない。妙に頼もしい形成外科総務全般の守り役である。



▲赤松順部長と外来で

職員対象

第 30 回

チカモリ・シネマクラブ

ゴースト／ニューヨークの幻

日時：2014 年 3 月 20 日 (木) 18:00 ~
場所：管理棟 3 階 大会議室 3

1990 年 / アメリカ / 127 分
出演：パトリック・スウェイン、デミ・ムーア、ウーピー・ゴールドバーグ

強盗に襲われ命を落とした男が、恋人の危険を幽霊となって知らせようとするが彼女には彼の存在がわからない。男は霊媒師の力を借りて知らせようとするが……。ロマンスとサスペンスが絶妙にブレンドされ、音楽も素敵です。観たことがある人もない人も、それなりに楽しめる映画だと思います。



職員旅行

▼ハンガリー最大のカトリック教会「エステルゴム大聖堂」
 ▶ブダペストの「ハンガリー国立歌劇場」
 ▼ローマのコロッセウム前で



2013年1月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	17,345 人
新入院患者数	785 人
退院患者数	732 人

近森病院（急性期）

平均在院日数	15.87 日
地域医療支援病院紹介率	85.52 %
救急車搬入件数	398 件
うち入院件数	206 件
手術件数	345 件
うち手術室実施	247 件
→うち全身麻酔件数	145 件

● 平成 25 年 1 月 県外出張件数 ●
 件数 40 件 延べ人数 60 人

編集室通信

雛祭りは家族でお祝いをしています。学生時代、宅急便でちらし寿司を届けてくれたことも懐かしい思い出です。今年は姪の初節句。雛人形選びから寿いています。私の雛人形選びのエピソードも聞き、家族にとっても思い出深い行事であると改めて感じました。姪の健やかな成長を祈り、今年のひな祭りは賑やかになりそうです（陽）

図書室便りは 8 面に